

生活

仕事

家計

「困った」を支える仕組み

解決に向け一緒に考えます

「生活困窮者自立支援制度」という名称を聞いたことがありますか？これは生活に困っている人を支えるための制度です。

「仕事が長期的に見つからない・・・」

「家族が引きこもっている・・・」

などといった悩みごとがある時は、ひとりで悩まずに、まず高島市自立相談支援機関にご相談ください。

本人だけではなく、家族や周りの方からの相談もお受けしています。

このような悩みを抱えていませんか？

【仕事に関すること】

- 仕事がなかなか続かない
- 仕事を探しているけど見つからない
- 仕事の探し方がわからない

【生活に関すること】

- ひきこもりがちになっている
- ひきこもりの家族がいる

【家計に関すること】

- 家計が上手く回らない
- 計画的にお金を使えない
- 借金や滞納がある

市では、このような悩みがある方へのサポートをしています。



【サポート体制フロー図】

本人の困りごとに 応じてサポート

生活の困りごと

家計のやりくりに関すること (家計改善支援)

家計状況の「見える化」や本人が自ら家計を改善・維持できるように支援計画の作成や相談支援、関係機関へのつなぎなど、早期の生活再建をサポートします。



仕事に関すること (就労支援、就労準備支援)

- 就労支援
ハローワークへの同行、職場見学や体験、職業訓練の紹介などを行い、働き始めること・続けることをサポートします。
- 就労準備支援
社会に出ることに不安を持っている方や、すぐに仕事を始めることが難しい方に、就労活動に向けたサポートや就労体験・訓練を提供します。(一部工賃が得られるものもあります)

家賃に関すること (住居確保給付金)

離職や廃業などで住居を失った（おそれのある）方に対して、就職活動などを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。

相談・申請窓口は、くらし連携支援室です。

相談から支援までの流れ

- 1 まずは相談
相談から生活再建・自立までの支援の流れをご紹介します。
- 2 生活の状況を見つめる
生活状況や課題を一緒に振り返ります。
- 3 あなただけの支援プラン
支援プラン（目標や支援内容）を一緒に考えます。
- 4 支援決定・サポート開始
支援プランに基づくサポートを行い、改善を目指します。
- 5 定期的なモニタリング
定期的に生活状況を確認し、一緒にプランを見直します。
- 6 真に安定した生活へ
困りごとが解決しても、必要に応じてフォローアップします。



まずは相談へ／

高島市自立相談支援機関（相談窓口）



【生活全般・家計改善】

つながり応援センター
よろず

（社会福祉法人高島市社会福祉協議会）

☎（25）5750

- ▶住所 新旭町北畑 45 番地1
（こども若者応援ベース「みらくる」内）
- ▶相談時間 8時30分～17時30分
（土日祝日・年末年始を除く）
- ▶相談方法 電話、面談、訪問による相談

ホームページはこちらから▶



【就労支援・就労にともなう生活相談】

湖西地域働き・暮らし応援センター

（社会福祉法人ゆたか会）

☎（22）3876

- ▶住所 今津町住吉2丁目 11 番地2
（地域生活支援センターほろん内）
- ▶相談時間 8時30分～17時30分
（土日祝日・年末年始を除く）
- ▶相談方法 電話、面談、訪問による相談

お気軽にお問い合わせください。

相談事例

家計改善支援に関する事例

必死に働いても生活がカツカツ…

派遣社員として一生懸命働いている50代女性。生活はカツカツで、水道光熱費を滞納している状態。しかし、生活保護を受けるには一定の要件があり、収入が生活保護の適応基準を上回っていたため、生活保護を受給することができなかった。生活困窮者自立支援制度の担当者に相談し、家計の収支を見直すことになった。

収支を見直すなかで、将来のためにかけていた複数の生命保険の内容が重複していることがわかったため、契約内容の見直しを行った。また、水道光熱費の支払いに関して市役所で、分納の相談を行った。支払いの見直しを持てたことで気持ちに少し余裕ができ、長年できていなかった趣味のコースにも参加できるようになった。

就労支援に関する事例

働きたい気持ちはあるのに仕事が続かない…

高校を卒業するときにやりたいことが見つからず、ひとまずアルバイトをしながらやりたいことを探すことにした。いろいろなアルバイトを経験したが、人間関係や「なにか違う」といった気持ちになり、どの職場も長く続かなかった。

自立相談支援機関の担当者、自分の得意なことや不得意なことを一緒に考えたり、いろいろな職場見学や職場体験をしたりして、自分にあった仕事探しを行った。

これまでなんとなく決めていた仕事を、得意分野から選択するようになったことで自信につながり、現在同じ会社で1年働いている。今でも仕事で困ったことがあると、担当者に相談することがある。

【出典】厚生労働省 広報誌「厚生労働」（一部引用）

☎ 社会福祉課 暮らし連携支援室 ☎（25）8120

Information
お知らせ秋の火災予防運動 11月9日～15日
『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

（2025年度全国統一防火標語）

☎ 消防本部予防課 ☎（22）5403

空気が乾燥するこれからの季節は、火災が多く発生します。小さな火元が大きな火災につながります。身の回りをチェックして、火事を起こさないように心がけましょう。

リチウムイオン電池は
適正な使用・廃棄を
しましょう！

近年、リチウムイオン電池を使用した製品が増加しており、使用中や収集運搬車両、廃棄物処理施設での火災事故が増加しています。適正な使用や廃棄をしてください。

★事故を防ぐポイント

①熱を避ける

直射日光のあたる場所や高温になる車内などに放置せず、高温・多湿を避けて保管しましょう。

正しい廃棄

不要になったリチウムイオン電池の廃棄は、市ホームページをご確認ください。



市ホームページ

Information
お知らせ

9月補正予算の概要

令和7年度9月補正予算が、9月議会で可決されました。今回の補正予算の概要は次のとおりです。

☎ 財政課 ☎（25）8111

▼歳入歳出補正予算

区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	328 億 4060 万円	10 億 9940 万円	339 億 4000 万円
特別会計	121 億 3100 万円	9246 万円	122 億 2346 万円
事業会計	147 億 4931 万円	0 万円	147 億 4931 万円
予算総計	597 億 2091 万円	11 億 9186 万円	609 億 1277 万円

※1万円未満を四捨五入しています。

▼主な事業

事業名	補正額	事業内容
低所得者支援給付金給付事業	2000 万円	定額減税補足給付金の不足額給付について、令和6年分所得税と定額減税の実績額が確定したため、追加計上する。
地域おこし協力隊設置事業	352 万円	地域おこし協力隊による地域おこし支援や地域協力活動を行うための調査に取り組む。
防災行政無線整備事業	4817 万円	新たな防災行政無線システム整備工事に伴う外部アンテナの追加等を行う。
小学校統合施設整備事業 中学校統合改修事業	△1 億円	複数年度にわたる契約締結を行うため、債務負担行為の設定を行うため減額を行う。
環境センター管理運営事業	9680 万円	火災で環境センターのコンベヤが一部焼損したため、修繕するとともに、火災再発防止に取り組む。

高島交通安全市民大会

市民の交通安全意識の高揚と交通事故ゼロのまちを目指すため、高島交通安全市民大会を開催します。交通安全式典をはじめ、アトラクションコーナーなど、盛りだくさんの内容です。ぜひこの機会に交通安全について楽しく考えましょう。

とき **11月16日(日) 13時30分～16時**
ところ **ガリバーホール**

来場者には
記念品
プレゼント!

アトラクション

- 吉本興業所属「ひよっこりはん」さんの
スペシャルステージ
- こどもガチャガチャ
- 展示コーナー「交通安全こどもの“え”作品展」

※内容は変更となる場合があります。

〒905-0851 高島市「セーフティーたかしま」交通安全推進協議会(事務局:都市政策課) ☎(25)8571

traffic safety



ひよっこりはん さん



Information
お知らせ

令和7年度 明るい選挙推進啓発用作品の審査結果

〒905-0851 選挙管理委員会事務局 ☎(25)8538

令和7年度明るい選挙推進啓発用作品を募集したところ、多数のご応募をいただきありがとうございました。応募作品を高島市明るい選挙推進協議会と高島市選挙管理委員会が合同で審査した結果、次の作品が入賞されました。おめでとうございます。入賞した作品は今後の選挙啓発に利用するとともに、滋賀県の審査に出品します。

▽ポスターの部



中学生の部

【最優秀賞】

今津中学校2年
くさかべ あやほ
日下部 礼穂 さん



小学生の部

【最優秀賞】

本庄小学校6年
れお
駒井 玲音 さん



【優秀賞】

本庄小学校3年
きい
駒井 希衣 さん

▽標語の部

【最優秀賞】「せんきよはね 町がよくなる おまじない」 内藤 花さん(今津)

【優秀賞】「投票に 希望と 期待をこめて」 岩越 恭子さん(今津)

Information
お知らせ

高島市農産ブランド認証制度を存じですか？

農 農業政策課 ☎(25)8511

農薬や化学肥料の使用量によって、
3種類に分かれています



金色



水色



黄緑色

ブランド認証の申請者には、食品安全や環境保全、労働の安全を確保するための点検などを日頃行っているため、市では農場の現地確認や認証農産物の残留農薬検査を実施しています。

「高島市農産ブランド認証制度」とは、市内で生産された農産物や加工品を、栽培期間中の化学農薬・化学肥料の使用量に応じて「高島市農産ブランド認証委員会」が認証する制度です。認証された農産物や加工品には次のマークを表示し、販売しています。

認証農産物のお求めは、農産ブランド推進店で

高島市農産ブランド認証農産物を積極的に販売したり使用したりするお店を、「高島市農産ブランド推進店」として登録しPRすることで、認証農産物の消費拡大や地産地消を推進しています。

区分	店舗名称	所在地
直売所	道の駅 マキノ追坂峠	マキノ町海津 897-27
	マキノピックランド	マキノ町寺久保 835-1
	道の駅 藤樹の里あどがわ	安曇川町青柳 1162-1
	うかわファームマート	鵜川 817-1
小売店	セブンイレブン滋賀安曇川五番領店	安曇川町五番領 118-3
	セブンイレブン安曇川駅前店	安曇川町末広 3丁目 2-1
	セブンイレブンしらびげ神社前店	鵜川 288-1
	セブンイレブンマキノ工業団地前店	マキノ町西浜 1172-2
飲食店等	今津サンブリッジホテル	今津町今津 1689-2
	鮎処 仲よし	安曇川町青柳 1212
	かばた館	新旭町旭 707
	コクトゥーラ桜井	大津市国分1丁目 217-10
	ポンプエーノボーノ	栗東市小柿 6-10-38
	西友 本店	今津町住吉2丁目 1-20
	おこめ食堂 なごみ	今津町福岡 828

地元の農産物は、きれいな水と空気、豊かな自然のもとで育てられ、旬の季節に新鮮に味わうことができる高品質な食材です。また、地元の農産物を食べることは、地域の食文化への理解や農産物の輸送にかかる環境負荷の低減、地域経済の活性化にもつながります。ぜひそのおいしさを味わってください。

認定農家・推進店大募集!!
今年度から、事務手続きを大幅に簡略化し、随時受け付けています。詳しくは、お問い合わせください。



糸賀一雄記念賞音楽祭

障がいのある人が主役の音楽祭

がやってくる!

「糸賀一雄記念賞」は、障がい者福祉の先駆者である糸賀 一雄さんの思いを受け継ぎ、障がいのある人などに関する取り組みをされている個人や団体に贈られる、栄誉ある賞です。

この糸賀一雄記念賞の受賞者を祝うため、毎年、県内で「糸賀一雄記念賞音楽祭」が開催されており、今回、初めての高島市開催となります。

福祉、芸術文化の関係者が分野を越えて集結し、障がいのある人もない人も、誰もが楽しめる音楽祭です。

高島市で長年にわたり音楽活動が続けてきた障がいのある人のグループ「湖西ワークショップ」のほか、県内各地のワークショップグループやプロミュージシャンとのコラボによるパフォーマンスをぜひご覧ください。

糸賀 一雄 さんとは

知的障がい児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」や重度心身障がい児のための「びわこ学園」を創設するなど、生涯を通じて障がい者福祉の向上に取り組んだ、戦後日本における障がい者福祉の第一人者。

と き 11月23日 13時開場

ところ 高島市民会館

料 金 (前売り) 一般 1,200円、障がい者 600円
(当日) 一般 1,500円、障がい者 750円

※障がい者の付添者、中学生以下の方は無料(無料の方もチケットが必要)

【高島市共催】

問 糸賀一雄記念賞第二十四回音楽祭実行委員会事務局
(社会福祉法人グロー 法人企画局地域共生部内)

☎ 0748(46)8100

WEBフォーム
予約



電子チケット
販売



今年もやります!

KOSEI 輝く芸術祭 2025

輝く笑顔、個性がキラリ

障がいのある人の文化活動を応援するため、平成10年から開催している芸術祭です。作品展示と舞台発表で日ごろの活動や練習の成果を披露します。また、市内の障がい福祉に関する取り組みが分かる展示も行います。

発表

展示

と き 12月13日 13時30分開演

ところ 高島市民会館

料 金 無料

と き 11月29日~12月6日 10時~16時

ところ 藤樹の里文化芸術会館

※12月1日(月)は休館、最終日は14時まで

問 KOSEI輝く芸術祭運営委員会事務局(高島市障がい者相談支援センターコンパス) ☎ (20) 9058



子どもだってつらい

例えば、子どもは、他の人と比べられ「できる」「できていない」を大人から判断されると、とても辛く悲しい気持ちになります。やろうとしたけど「できなかった」などの行動の結果を非難されたり怒られたりすることも、同様に悲しい気持ちになります。

子どもにとって、一番の味方でいてほしい家族から、「できていない」「へたくそ」などと言われると、だんだんと自信をなくしてしまいます。怒られるのは自分が悪いということは分かっているけれど、時には少しでもがんばろうとする姿を捉えて、大げさに褒めてほしいというのが子どもの視点です。



親だってつらい

最低限これぐらいはできてほしい、ということがいつまでたってもできないとき、困り果ててしまうことはありませんか?

言葉が理解できる年齢になっていれば、子どもは親の言っていることをちゃんと聞いていますし、分かっています。親が期待することができるようになるには、それぞれのペースがあって、子どもは親に教えてもらったことを、毎日がんばっています。

時にはお父さんお母さんも「疲れた」と誰かに愚痴を聞いてもらい、疲れを癒すためにゆっくり休んでもいいのです。お父さん、お母さんの「にちようび」はいつですか?

子どもと子育て家庭を応援

「虐待」かどうかの判断は不要です。重要なのは、「子どもの視点にたって考えてみる」ことです。市では、子ども虐待を「うたがう」のではなく、みんなで支える、みんなで育てる地域づくりを目指しています。

目の前の子どもや家族のようすが気になった時、「どうしたのかな?」「何か困っているのかな?」という温かい関心を向けることが大切です。

困っている子どもや家族を放っておかない。大切な子どもや家族の笑顔を守るため、次の相談窓口に、一度ご相談ください。匿名での相談も可能です。

子どもに関する相談窓口

○こども家庭センター

☎ (25) 8517

○虐待ホットライン(24時間対応)

☎ 077(562) 8996

○子ども・子育て応援センター(こころんだいやる)

☎ 077(524) 2030

(9時~21時 12/29~1/3を除く)

☎ 0120(0) 78310

(24時間こどもSOSダイヤル)

○児童相談所全国共通ダイヤル

☎ 189